

令和2年2月9日執行

# 前橋市長選挙 選挙公報

前橋市選挙管理委員会

## 県都再生ラストチャンス!!

### ○ゴミ処理に責任を!!

六供清掃工場に約125億円投入し修繕しても延命はたったの15年  
建設予定地はすでに8億円かけたサッカー場（新工場建設不可能）  
直ちに用地探しをはじめ、市民生活を守ります。

### ○子育てのまち前橋

幼稚園・保育園・認定こども園の副食費を無料にします。  
（月額約4,500円）

### ○健全財政実現

・県内12市中ワースト2位の財政状況を改善  
・この4年間で基金（預金）が80億円減額  
・財政破綻を食い止めます。

拓く前橋 勇気力!!

### ○市民目線で再検討

・新たな道の駅、日赤跡地開発  
建設費の負担は合わせて約48億円  
財政厳しいこの時期に行う事業なのか  
これ以上の市民負担を食い止めた

### ○産業振興

・産業団地の在庫はゼロで誘致もできない  
・新規産業団地の造成推進  
・農業林業の更なる活性化



# 岩上憲司

47歳

## 福祉や子どもにあたたかい市政へ

## 党派をこえて 政治経験豊かな 女性市長を



# たなはし せつ子

### 重点政策

- 学校給食費を無料に（予算の1%未満）
- 全学年を30人学級に
- 国保税の引き下げ、特養ホームの増設
- マイタク・マイバスなどの公共交通の充実
- 市独自の給付制奨学金の創設
- 商店・住宅リフォーム助成の創設・拡充
- ジェンダー平等
- 女性副市長の登用
- 「すぐやる課」（仮称）の設置

国いなりりの保守系候補でこの？  
「桜を見る会」の税金私物化、カジノ汚職、モリカゲ  
疑惑にまみれた安倍政権に追随する自民・保守系  
の市長を選ぶのか、憲法を生かした福祉・子育て  
最優先の市長を選ぶのかが問われます。

市の年間予算  
1440億円  
財政調整基金  
62億円

### 財源はあります

新「道の駅」（9.5億円）や  
前橋駅北口・日赤病院跡地・  
中心商店街の再開発事業など、  
不要不急の大型開発を見  
直せば、財源はつくれます。



（略歴）1961年生まれ。前橋市立女子高、県立保育大学卒業。きりのご保育園、新婦人前橋支部、日本共産党群馬県委員会などに勤務。前橋市議1期。青柳町在住。家族：夫・一女

民主市政の会（日本共産党推薦）

### ～プロフィール～

昭和48年 1月22日前橋市に生まれる  
昭和54年 慈照幼稚園卒業  
昭和60年 前橋市立二之宮小学校卒業  
平成3年 明德義塾中・高等学校卒業  
平成7年 東京農業大学農学部卒業  
平成17年 群馬県議会議員 初当選（32歳）

平成27年 群馬県議会議員 4期目当選  
平成29年 群馬県発議条例等の検証に関する特別委員会副委員長  
平成30年 弱者高齢者対策特別委員会委員長  
平成31年 群馬県議会議員 5期目当選  
令和元年 自由民主党群馬県支部連合会総務会長  
議会基本条例推進委員会委員長



ホームページ

### ～主な役職～

群馬県ウエイトリフティング協会会長  
群馬県アーチェリー協会副会長  
群馬県バスケットボール協会会長  
前橋市テニス協会会長  
群馬県野球連盟前橋支部副支部長  
前橋市熱中症対策協議会会長  
前橋市フットボール協会副会長  
前橋市ソフトボール協会顧問  
前橋市バレーボール協会顧問  
前橋市グラウンドゴルフ協会相談役  
東前橋グラウンドゴルフ協会顧問  
前橋市東部ソフトボール協議会顧問  
群馬県高齢者協会特別顧問  
前橋八木節協会相談役  
前橋市聴覚障害者福祉協会顧問  
群馬県水土地改良区顧問  
前橋市産業協力会相談役  
前橋市社会福祉協議会生活衛生同業組合相談役  
群馬県司法書士会顧問  
群馬県土地家屋調査士会顧問  
群馬県左官工業協同組合前橋支部顧問  
群馬県再生材協会顧問  
群馬県内産加工工業協同組合顧問  
群馬県自転車協同組合前橋支部顧問

大事な投票、忘れずに!



## 前橋市長選挙 前橋市議会議員補欠選挙

投票日 **2月9日(日)**

投票時間 **午前7時～午後7時**

※三夜沢赤城神社氏子会館・西大河原集落センターは午後6時まで

前橋市選挙管理委員会

## 『生きやすい前橋』実現へ

### 2020マニフェスト（主たるものを抜粋して紹介）

※マニフェスト全文については、公式HPより（http://www.yamaryu.net/）ご確認ください。

### 老後の不安をなくし、「マイタク」をもっと便利に!

- 救急車の搬送時間をスピードアップ（全国トップを目指す）
- 自動運転バス、乗り合いタクシー、支援バスの運行充実により、どこに住んでも便利な仕組みを構築

### モノづくり、観光、地場産業を応援!

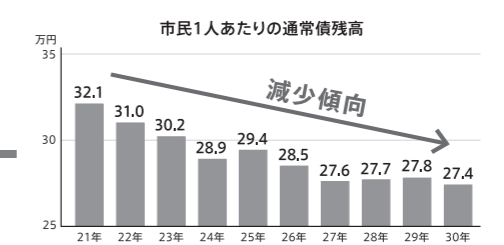
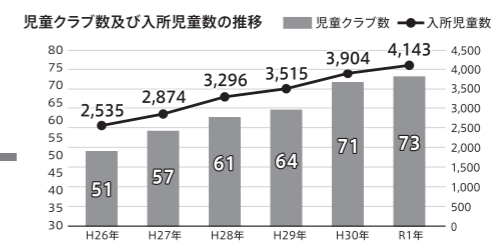
- 市内業者を優先した公共発注と、農業用施設への償却資産の減免
- スローシティ事業の推進（赤城山の環境と文化を守り、若者が返る赤城へ）

### 子育ての負担と不安をなくす!

- 高校生までの医療費無料化へ
- 学童保育6年生まで拡大中

### 前橋のお財布は大丈夫!

- 市民の負担を増やさずに、「やりくり」から生まれたお金で暮らしを支えています



山本りゅう選挙事務所

〒379-2166 前橋市野中町386  
（国道50号沿い、オレンジ色の建物）  
TEL:027-226-5803 FAX:027-226-5812

龍からのメッセージはコチラ



令和2年2月9日執行

# 前橋市長選挙 選挙公報

前橋市選挙管理委員会

## 国政27年間の経験と実績

皆さんと一緒に 前橋再生を実現します！

### 1 給食費全面無料化

前橋市の将来を担う子供たちの育成は行政の大切な仕事です。経済的負担の軽減、子育て環境の向上や少子化対策などを図るため、給食費の全面無料化を必ず実施します。

### 2 積極的な企業誘致

上武国道および主要幹線道路のストック効果を利用し、企業誘致をすすめ、人口を増加させて活気を取り戻します。

### 3 補助金と交付金の確保

中央とのパイプを活かし県都前橋にふさわしい補助金と交付金を確保します。

### 4 社会保障の充実

### 5 農業を守る

### 6 観光資源の発掘

### 7 土地利用の規制緩和

### 8 0・1・2歳児までの保育料全面無料化

【詳細はホームページにて】  
<https://sata-office.net/>



佐田 一朗  
さ だ い ち ろ う

## プロフィール

昭和27年前橋市三俣町生まれ 家族：妻・息子2人  
前橋市立城東小学校・群大附属小学校・中学校 卒業  
群馬県立前橋高校 卒業 / 北海道大学工学部 卒業

## 経歴

衆議院議員9期（27年間） / 議院運営委員長  
行政改革担当大臣 / 住宅土地調査会長 / PFI調査会長  
八ッ場ダム推進協議会長 / 税制調査会副会長

## おしらせ

個人演説会（総決起大会）  
【日時】令和2年2月7日（金）午後3時30分  
【会場】前橋市総合福祉会館（日吉町2丁目17-10）

## 市民とつくる前橋の未来！

～私たちの前橋は、前橋市民がつくる！～



中島 もとひろ  
なか じま  
48歳 無所属

### 中島もとひろ 3つの約束！

- 市民第一の前橋に変える！
- しがらみのない公平公正でクリーンな前橋に変える！
- 愛と温もりのある前橋に変える！

### 中島もとひろの 主な政策

- 1 しがらみのないクリーンな市政運営
- 2 『市民会議』を新設
- 3 市長退職金1期2,700万円を辞退
- 4 3歳未満児保育・学童保育の充実
- 5 誰も見捨てない福祉の追求
- 6 学校教育環境の向上
- 7 図書館を含むまちなか再開発事業の推進
- 8 市内企業優先発注の徹底
- 9 マイタク・バスの利便性向上
- 10 環境に優しい新清掃工場の整備に着手

### プロフィール

昭和46年、前橋市江田町に生まれる。東中学校（野球部）、県立前橋高校、中央大学法学部政治学科（中央大学管弦楽団）を経て、国会議員秘書。平成13年、高崎経済大学大学院地域政策研究科修士課程在学中、前橋市議会議員初当選（5期、過去3回連続トップ当選）。県議1期。元前橋市議会議長・関東市議会議長協会会長・全国市議会議長会副会長。  
座右の銘：挑戦！ 尊敬する人：下村善太郎、石井繁丸、小栗上野介  
家族構成：妻（医師）、一男一女 趣味：音楽鑑賞 好きな食べもの：そば  
中島もとひろ選挙事務所 前橋市江田町292-12 TEL027-210-5270

公式サイトを  
ご覧ください



大事な投票、忘れずに！



## 前橋市長選挙 前橋市議会議員補欠選挙

投票日 **2月9日(日)**

投票時間 **午前7時～午後7時**

※三夜沢赤城神社氏子会館・西大河原集落センターは午後6時まで

前橋市選挙管理委員会



エビネあつし

- 1 子が親を選び、親は子を信じ抜く  
子は親を選べない、また、親は子（泣く子と地頭）には勝てません。しかし、スポーツの世界では、そのみが、自己の成長・実現の唯一の道、だったのです。そこでは、子が親をまるで選んだかのように、親と手を取り合って成長して行きます。親も、まるで子を選んだかのように、子のわがままに勝って、子と共に、さらなる自己の実現をして行くのです。
- 2 民が親を選ばず、親が民を裏切る現実  
映画俳優だった、故石原裕次郎氏の名言は、「役者は男子一生の仕事にあらず」だったといえます。これに知らず、「スポーツも男子一生の仕事ではない」かも知れませんが、しかし政治は違います。民が親を選び、親は民によつてのみ選ばれる政治だけは、それは全く異なる、善です。政治家は、ましてや政治屋は男子一生の仕事ではない、かも知れませんが、「政治イコール選挙」の選挙だけは、私たち、老幼男女を問わない、主権者一人一人、国民、社会人全員の一生の兼業の仕事、いわば在宅勤務の本業、なのです。
- 3 たかが県都、ではなく、まず県都から  
以下の言葉も、新聞やテレビで報じられたものですが、「この程度の国民にはこの程度の政治」「メロンくらいは持ってこい」と怒られた」「（民は皆）最後は金目ですよ」「握手の数しか票はないんだよ」「こんな人達に負ける訳にはいかないですよ」

- 4 今や「実現が奇跡の正当選挙」  
1947、51年の、民選になったの第1、2回の前橋市長選挙において、関口志行氏（国民民主党）は、初当選時（投票率77.96%）に1万6537票（2位の無所属が9998票、3位の日本社会党が8061票、再選時（投票率93.01%）に4万1201票（2位の共産党候補が4354票）を獲得されました。「投票率9割の得票率9割」、9×9で、実に全市民の8割1分の人が支持した、今日からすれば、正に奇跡の正当選挙を実現されていたのです。
- 5 それを実現するのが報恩の道  
以上、子（民）が親（民の臨時の代理）を選び、親（子）を信じ抜く、「無責任な責任」ではない、本当の責任で、民を戦争へと向かわせない、そういう、民の安全・安心のために、任期4年を戦い抜く首長を、この群馬の県都の前橋市から、第20回目の今度こそ、第2回目の時のような奇跡の投票率で、私は選出して頂きたいのです。ご静聴、誠に有難うございました。

令和2年2月2日 海老根 篤